

頸城の文化みつめなおして

企画展

森成麟造

— 上越考古学の先覚者 —



クリス形石剣
(森成家所蔵)

子持勾玉
(森成麟造考古資料コレクション
上越市立歴史博物館所蔵)



森成麟造肖像
(濱谷浩撮影©片野恵介)

2022
7.2_土~
8.28_日

休館日：7月4日(月)、7月11日(月)、8月22日(月)
開館時間：午前9時~午後5時(観覧券の販売は午後4時30分まで)
観覧料：一般510円(410円)、小中高生260円(210円)
※()は20人以上の団体料金
※幼児および市内の学校に通う小中学生は無料
※本料金で常設展もご覧いただけます。

上越市立歴史博物館
JOETSU CITY HISTORY MUSEUM

〒943-0835 新潟県上越市本城町7-7 (高田城址公園内)
Tel.025-524-3120 Fax.025-522-7205
URL : <https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/museum/>





森成麟造

—上越考古学の先覚者—

明治17年(1884)、東頸城郡菱里村真萩平(現上越市安塚区真萩平)に生まれた森成麟造は、仙台医学専門学校(現東北大学医学部)で学び、東京の病院勤務を経て、明治44年(1911)に高田で開院しました。麟造は医業の傍らで多彩な趣味を持ち、東京勤務時代に主治医を務めた夏目漱石との交流も深く、漱石が亡くなった翌年の大正6年(1917)からほぼ毎年「漱石忌句会」を開催したりするなど、多くの文化活動の中心にいました。

麟造は遺跡調査、考古資料の収集にも熱心で、縄文土器や石器、古墳時代の勾玉や中世の古銭など多様な資料を収集し、採集日や場所の記録を書き残すなど、上越地域の考古学・歴史研究の発展に大きな役割を果たしました。

麟造の集めた考古資料1,379点は、「森成麟造考古資料コレクション」(森成コレクション)として、平成2年(1990)に当館へ寄贈されました。本展では、森成家所蔵資料や森成コレクションを中心に、麟造の研究の業績と、多方面で活躍した麟造の生涯について紹介します。

一関連イベント一

■学芸員による展示解説会

日時：7月23日(土)、8月7日(日)
午前11時~12時

参加費：無料(ただし、観覧料が必要)

※申し込みは不要です。

新型コロナウイルス感染症の状況により中止となる場合があります。

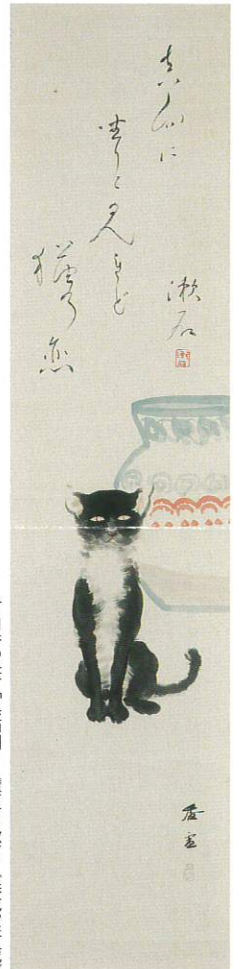


森成麟造考古資料コレクション全景(上越市立歴史博物館所蔵)



夏目漱石寄贈 森成麟造使用のシガレットケース(森成家所蔵)
表面に漱石の俳句が彫られています。

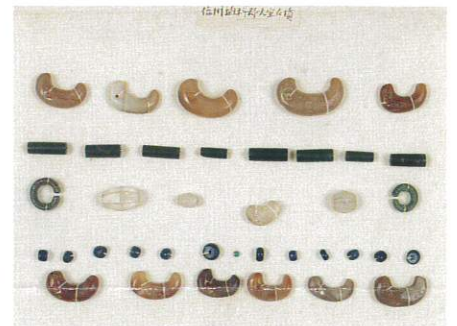
森成麟造肖像
(濱谷浩撮影©片野恵介)



村山香雪筆「黒猫図」
讀夏目漱石(森成家所蔵)



菅原村黒保(現上越市清里区馬屋)出土 縄文土器
(森成麟造考古資料コレクション 上越市立歴史博物館所蔵)



伝大室古墳群(長野県長野市)出土 勾玉ほか
(森成麟造考古資料コレクション 上越市立歴史博物館所蔵)

交通案内

【公共交通機関でお越しの方】

- ・北陸新幹線上越妙高駅下車「上越妙高駅前」から「中央病院行」バスで「西城町1丁目」降車、徒歩5分。
- ・えちごトキめき鉄道高田駅下車「高田駅前案内所」から「中央病院行」バスで「西城町1丁目」降車、徒歩5分。
- ・えちごトキめき鉄道直江津駅下車「直江津駅前」から「中央病院行」バスで「高田城址公園」降車、徒歩5分。

【自家用車でお越しの方】

- ・北陸自動車道から上越IC~国道18号線 鴨島立体交差点右折、高田城址公園内まで約15分。
- ・上信越自動車道から上越高田IC~高田城址公園内まで約15分。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 新型コロナウイルス
感染予防対策に
ついて | ①ご入館の際は手指の消毒をお願いします。 |
| | ②館内ではマスクを着用し、間隔を空けてご覧ください。 |
| | ③発熱など体調がすぐれない場合は来館をお控えください。 |



上越市立歴史博物館
JOETSU CITY HISTORY MUSEUM

〒943-0835 新潟県上越市本城町7-7(高田城址公園内)
TEL: 025-524-3120 FAX: 025-522-7205
URL: <https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/museum/>

